

平成 30 年度（2018）年度

事業計画書

自 平成 30（2018）年 4 月 1 日

至 平成 31（2019）年 3 月 31 日

公益財団法人岩手県国際交流協会

Ⅰ 基本方針

本県の在住外国人数（住民登録者数）は、東日本大震災の影響により一時的に急減したが、その後徐々に増加し、直近の平成 29 年末現在では 6,551 人と、ピーク時の平成 20 年末（6,404 人）を超え増加しつつある。その主な要因は、ベトナム籍を中心とする技能実習生の急増に加え、アジア圏出身者の介護事業所や飲食店での就労など就業分野の拡大等に伴う外国人労働者の増加によるものであり、外国人在住者の国籍や支援ニーズの多様化とともに、課題等も変容しつつある。また、海外からの外国人観光客も急増し、特に個人旅行者が拡大傾向にあることに加え、ラグビーワールドカップの釜石開催や国際リニアコライダーの実現に向けた対応が本格化する中、在留外国人や外国人旅行者等の受入れ体制整備や地域の国際化推進の取組の必要性が急速に高まっており、同時に当協会が果たす役割への期待感も一層高まっている。

このような動向を踏まえ、平成 30 年度においては、在住外国人や外国人旅行者等が、地域で安心、安全に生活や滞在することができる環境の整備や地域国際化の推進に向けて、県民誰もが偏見なく外国人と交流できる異文化理解や外国人に対する福祉、医療、教育等多方面の適切な対応を促進するための取組、国際化に対応した地域づくりを促進するための取組等を強化していく。

具体的には、これら取組の主要な担い手となる市町村や市町村国際交流協会、関係団体等との連携を一層強化し、地域における多文化共生や国際化の必要性、課題に対する認識の共有化を図りながら、次の 3 つの柱に沿って、地域の国際化、多文化共生を担う人材の育成や、多文化共生の課題解決に向けた情報を共有するための「いわて国際交流・国際協力、多文化共生リソースバンク」の開設、グローバル化に対応した次世代の人材を育成するための研修事業の実施などに重点的に取組んでいく。

また、取組みの推進に当たっては、県との相互の緊密な連携のもと、県における多文化共生、国際交流関係プラン、ビジョンとの整合性にも配慮しつつ、効率的かつ効果的な組織運営と事業実施に努める。

① 「地域に根ざした国際理解・交流の推進」

新たに、外国人が有する多様性を活かした社会づくりや地域づくりなど、多文化共生や国際化の観点から地域における取組の活性化に向けて、県、市町村、市町村国際交流協会及び当協会の 4 者の課題認識の共有や連携を一層強化するための会議を県内 4 地域で開催するとともに、市町村の外国人への行政サービス対応職員や市町村国際交流協会職員等を対象として、外国人支援等様々なテーマで多文化共生について学ぶ研修を実施する。

また、各地域の特徴を生かし地域に根ざした国際理解・交流の推進を図るため、活動の拠点となる市町村国際交流協会の運営支援を引き続き強化する。

② 「多文化共生の地域づくり」

新たに、外国人支援や多文化共生の課題解決に向けた情報、ノウハウの共有化を図るための「いわて国際交流・国際協力、多文化共生リソースバンク」を開設するとともに、外国人患者の受入れ体制整備に向けた関係機関との検討会やセミナーを開催する。

さらに、県民が外国人の多様性について認識を深めるための講演会の開催や、外国人の視点から地域が持つ新たな魅力を創出し、地域活性化につなげていくためのワークショップを実施する。

また、引き続き、災害時における外国人支援体制の構築及び外国人の防災意識の醸成を図るた

めの取組を推進し、外国人支援拠点としての機能を強化していく。

③ 「次代を担う人づくり」

新たに、グローバル化に対応した次世代の人材を育成するため、高校生や大学生等の若い世代を対象として、外国人との交流を通じての異文化体験やコミュニケーション能力等の習得を目指した研修を実施する。

また、「いわてグローバル人材育成推進協議会」の事業として、引き続き県内大学生等の海外派遣事業に取組むほか、外国人留学生等の県内就職支援のためのグローバルキャリアフェアや、外国人や海外経験を有する日本人学生等と会員企業が情報交流を行う交流会を開催する。

II 事業計画

1 地域に根ざした国際理解・交流の推進

(1) 国際交流の推進

① 国際交流センターの運営（県委託等）

県から委託を受けて、国際交流等の情報提供、在住外国人に対する生活支援、県民と外国人との交流、グローバル人材育成等の拠点施設である国際交流センターを運営するため、スタッフ及び国際交流補助員等を配置し、センター利用者への助言や支援、情報収集・提供、在住外国人の相談への対応や国際交流・国際理解の事業等を実施する。

スタッフ： 6名（英語、中国語、韓国語、フランス語対応）

外国人相談専門員： 4名（中国語、韓国語、フィリピン人等英語、ベトナム語対応）

国際交流補助員： 2名（英語、スペイン語、中国語対応）

② 外国人との交流会の開催

県国際交流員や留学生、在住外国人等と当協会の協働企画により、定期的に外国人との交流会の開催や語学サロン等を開設し、在住外国人との交流を深める。

開催場所： 国際交流センター

実施日： 土曜日

（第1土曜日：英語、第2土曜日：中国語またはスペイン語、第3土曜日：外国人との交流会（隔月）、第4土曜日：アジアの言語）

③ 国際交流イベントの開催

ア 「2018 ワン・ワールド・フェスタ in いわて」の開催

国際交流・協力・多文化共生について、広く一般県民に啓発普及を図るため、在住外国人やボランティア、国際交流関係団体等と連携・協働して、国際交流イベントを開催する。

開催場所及び時期： 国際交流センター 12月9日（日）

事業内容： 外国紹介ブース、市町村国際交流協会や国際交流関係団体等の活動紹介、食文化の紹介、外国文化体験コーナー等

イ 盛岡さんさ踊りへの参加

在住外国人や市町村国際交流協会や国際交流関係団体等と連携し、盛岡さんさ踊りに参加し、国際交流の啓発普及を行う。

④ 「身近な国際協力～世界フェアトレードデイ～」の実施

フェアトレードを通じて国際協力の意識啓発を図るため、国際協力機構（JICA）東北支部や環境学習交流センター、県内フェアトレード団体等と連携しイベントを実施する。

⑤ 国際協力機構（JICA）研修員の受入れ実施 **新規**

国際協力の意識啓発及び国際協力を通じて海外との交流を図るため、国際協力機構（JICA）の研修員の受入れを実施する。

受入国及び人数： イラク、約 18 人（予定）

受入期間： 18 日間

⑥ ホストファミリーの登録・活用

ホームステイの受入れにより外国人との交流を深めるため、ホストファミリーの登録を推進するとともに、各市町村国際交流協会や関連団体等と連携し、活動の機会を提供する。また、ホストファミリー間の交流や情報共有を行うための交流会を実施する。

⑦ いわて国際化人材の登録・活用

岩手の国際化の推進や多様化する多文化共生への対応を図るため、多様な分野の人材を登録し、通訳・翻訳、国際理解講座などの講師等として登録者を紹介する。

また、市町村国際交流協会等の協力のもと、希少言語や盛岡地域以外からの依頼に対応できるよう登録者の拡大を図る。

(2) 国際理解の推進

① 国際交流センター内の企画展示

県民の国際理解を深めるため、様々なテーマでの企画展示を行うとともに、国際協力機構（JICA）や市町村国際交流協会、国際交流関係団体等による企画展示や活動紹介、イベント情報等を発信する機会を提供する。

(3) 市町村、市町村国際交流協会、国際交流団体等との連携

各地域の国際化に向けた連携・支援を強化するため、市町村や市町村国際交流協会との情報交換を緊密に行い、実態把握に努めながら、地域の実状に即した支援を行う。

① 地域国際化推進会議の開催（県委託）**新規**

外国人が有する多様性を活かした社会づくりや地域づくりなど、多文化共生、国際化推進の観点から地域における取組の活性化に向けて、県、市町村、市町村国際交流協会及び当協会の 4 者の課題認識の共有や連携を一層強化するため、合同の会議を県内 4 地域で開催する。

開催時期： 4 月（予定）

② 地域国際化人材育成研修の実施（県委託）**新規**

地域の国際化、多文化共生を担う人材を育成するため、市町村及び市町村国際交流協会職員等を対象として、外国人支援に関すること等様々なテーマで多文化共生について学ぶ研修を実施する。

開催地域： 県内 4 地域

③ 国際交流関係団体連絡会議の開催

市町村国際交流協会や国際交流・協力・多文化共生に関わっている各団体の活動の活性化及び個別課題の解決に向け、相互の意見・情報交換等を行う。

④ 国際交流関係団体等の活動支援助成

県内の国際交流団体等が行う県民参加型の国際交流・協力・多文化共生の活動及び日本語教室の運営経費の一部を助成する。

⑤ 国際交流関係団体等との共催事業の実施

国際交流関係団体等が行う国際交流・協力・多文化共生の事業に対し、共催や後援等により支援する。

2 多文化共生の地域づくり

(1) 情報の収集・提供

① 多言語ホームページによる情報提供

協会ホームページ（facebook、twitter、メーリングリストを含む。）により、多言語でイベントの案内、生活情報、市町村国際交流協会や国際交流関係団体の活動情報、国際リニアコライダー（ILC）関連情報等について、スマートフォンやタブレットでも見やすく、検索しやすい形態で発信する。

また、同様に海外に向けても岩手の情報を発信する。

言語： 英語、中国語、日本語

② 多言語の国際交流情報紙の発行

県内外の国際交流・協力・多文化共生のイベント情報や外国人への生活情報、協会からの情報等を掲載した英語、中国語及び日本語の国際交流情報紙を発行する。

発行回数： 年6回（予定）

③ 国際交流・協力・多文化共生に関する図書や情報、物品の収集提供

ア 国内外の国際交流・協力・多文化共生・留学等に関する図書や資料・教材を収集し、提供する。

イ 在住外国人の協力を得ながら、各国大使館や政府観光局などを通じて国別、地域別の情報や資料を収集し、提供する。

ウ 国別の物品（国旗、民族衣装、楽器、玩具など）を収集し、貸出を行う。

④ いわて国際交流・国際協力、多文化共生リソースバンクの開設（県補助）**新規**

市町村や市町村国際交流協会が効率的に外国人支援や多文化共生の課題解決に取り組むことができるよう様々な情報やノウハウの共有化を図るため、「いわて国際交流・国際協力、多文化共生リソースバンク」を開設する。

事業内容： リソースバンク システム開設・運営、「外国人のためのいわて生活相談ガイドブック」「いわて多言語子育てハンドブック」、「外国人児童生徒の就学支援ハンドブック」改訂版の作成 等

(2) 日本語学習支援

① 日本語サポーターの登録・育成と活用

在住外国人の様々な日本語学習ニーズに対応できるよう、日本語サポーターの登録を行い、外国人の依頼に適した日本語サポーターの紹介を行う。

また、日本語サポーターの登録者拡大と日本語指導能力の向上を図るため、日本語サポーター研修を実施する。

(3) 外国人県民等の生活支援

① 外国人相談の実施

ア 相談窓口の設置

在住外国人が安心して生活できるよう、日本語学習・医療・福祉・子育て・家庭内の問題等に関することなど、幅広い相談に対応するため、外国人相談窓口を設置する。

相談窓口設置場所： 国際交流センター

相談対応時間： 毎日（年末年始（12/29～1/3）・閉館日を除く。）9：00～20：00

対応言語： 英語、中国語、韓国語、スペイン語、フランス語、日本語

イ 相談専門員の配置（一部県委託）

中国語、韓国語、英語、ベトナム語での対応が可能な相談員を配置し、県内在住外国人数が

多い中国籍、フィリピン籍、韓国・朝鮮籍、ベトナム籍、英語圏籍等の在住外国人からの相談に対応する。

外国人相談専門員： 4名（中国語、韓国語、フィリピン人等英語、ベトナム語対応各1名）

ウ 外国人定期相談日

在住外国人が抱える在留資格・諸手続などの問題を解決するため、岩手県行政書士会との連携により定期的な相談日を設ける。

開催日： 毎月第3水曜日 15:00～18:00

開催場所： 国際交流センター

エ 地域巡回相談

外国人相談専門員が地域を巡回し、日本語教室等に寄せられた相談への対応や情報提供を行う。

② いわて災害時外国人支援体制構築事業（県補助）

災害時における外国人支援体制の構築及び外国人の防災意識の醸成を図るため、災害時多言語支援者の育成・登録や関係機関による外国人支援連絡体制の整備、実践訓練、研修、外国人住民や自治体が発信する防災関係情報・資料の多言語化支援等を実施する。

③ 外国人患者受入体制構築事業（県補助）**新規**

在住外国人や外国人観光客が安心、安全に過ごすことができるよう医療面での体制整備を促進するため、医療関係機関等との検討会やセミナー等を実施する。

事業内容： いわて外国人患者受入体制研究会の立ち上げ、医療機関を対象としたセミナー、いわて多文化医療ガイドの作成、多文化共生担当者研修会の開催

④ 私費外国人留学生支援

ア 奨学金支給（県補助）

私費外国人留学生の経済的負担の軽減を図るため、奨学金を支給するとともに、「いわて留学生大使」に委嘱し、県内で行われる国際交流活動又は県内就職支援の取組みへの積極的な参加を促進する。

支給期間： 平成30年4月～平成31年3月

支給人数： 10人

奨学金額： 20,000円/月

イ 県内就職支援

岩手県外国人留学生就職支援協議会（事務局 岩手大学）やいわてグローバル人材育成推進協議会と連携し、外国人留学生の県内就職を支援する。

(4) 地域づくりセミナーの関係

① 多文化共生地域づくりセミナーの実施（県委託）**新規**

県民が外国人の多様性について認識を深め、外国人と共生するまちづくりについて考える契機とするため、多文化共生に配慮した地域づくりに関する講演会を開催する。

② 多文化共生地域づくりワークショップの実施（県委託）**新規**

外国人の視点から地域が持つ新たな魅力を創出し、地域の活性化につなげていくため、地域づくりに関心のある方々を対象として、外国人とともに地域の国際化や多文化共生を切り口としたまちづくりについて考えるワークショップを実施する。

開催地域： 県内4地域

3 次代を担う人づくり

(1) 講座・研修

① いわてグローバル・カレッジの開催（一部県委託）

グローバルな視点から岩手における国際化・多文化共生について理解を深めるとともに、今後の国際交流・協力・多文化共生について様々な角度から考える契機とするため、県民を対象とした「いわてグローバル・カレッジ」を開催する。

開催場所： 国際交流センター

② 世界とのかけはしとなる人材育成支援事業「いわて青年国際塾」の実施（県補助）**新規**

グローバル化に対応できる次世代の人材を育成するため、県内在住の高校生、大学生など若い世代を対象として、留学生等外国人との交流を通じての異文化体験や、グローバルな人材に必要なコミュニケーション能力や技術等の習得を目指した研修を実施する。

③ 職業体験の受入れの実施

当協会の活動や国際交流・協力・多文化共生への理解を深め、就職意識の醸成にも資するよう、県内在住の大学生、高校生などを対象とする職業体験の受入れを行う。

(2) 海外研修員等の受入れ支援

① 海外研修員等のサポート（県委託）

県が海外から受け入れる海外自治体職員研修員及び海外技術研修員の研修等が円滑に行われるよう、研修機関との連絡調整を行う。また、本県において充実した生活を送り、本県の良き理解者・支援者となるようサポートする。

海外自治体職員研修員： 国／中国

海外技術研修員： 国／アルゼンチン 職種／調理（予定）

(3) 「いわてグローバル人材育成推進協議会」事業の運営（県委託）

「いわてグローバル人材育成推進協議会」の運営に関し、県と協働して事務局機能を担い、協議会事業の円滑な推進を図る。

いわてグローバル人材育成推進協議会 平成30年度事業計画（案）

① トビタテ！留学 JAPAN 日本代表プログラム・地域人材コースの実施

平成29年度に引き続き、文部科学省事業「官民協働海外留学支援制度～トビタテ！留学 JAPAN 日本代表プログラム～地域人材コース」を活用し、県内の日本人学生の海外研修及び県内企業でのインターンシップを通じて地域に貢献する「グローバル人材」を育成する。

- ・ 5プログラム
- ・ 派遣人員： 10人程度
- ・ 海外研修期間： 28日～6か月

② グローバルキャリアフェアの開催

平成29年度（一財）自治体国際化協会の助成により実施した「グローバルキャリアフェア in 岩手」について、平成30年度は関係機関等と連携しながら協議会事業として実施する。

③ 外国人や海外経験を有する日本人学生等と企業との交流会を開催

「トビタテ！留学 JAPAN 地域人材コース」派遣学生をはじめ海外留学に関心の高い日本人学生や県内在住外国人と会員企業の関係者が参加する交流会を定期的に行い、世代や立場を超えた情報交流を行う。